

鍋島茂義周辺の人々

※年齢は数え年

茂順（松千代、直太郎、十左衛門、越後、信順）

宝暦十年九月十八日生

天保六年八月十日没

武（齊、廉）

安永九年八月八日生

白石鍋島家五代鍋島山城直賢の養女となり、太田鍋島家十一代鍋島茂卿に嫁す（継々室）のち離縁

信明（職之助、職一郎、淳太郎、主計、石見）

天明二年七月二十七日生

文化四年五月十七（十六）日没

幹（真、寛）

寛政二年六月十五日生

深堀鍋島家十代鍋島茂辰に嫁す

明治二年十月八日没

紹次郎

寛政三年十一月十二日生

同六年九月十四日没

寛七郎

寛政五年七月十五日生

同六年六月二十八日没

芳之助

寛政七年八月七日生

同年十一月六日没

文化八（一八一二）年七月二十八日生

佐賀十代藩主鍋島直正の姉

文政十年二月十八日鍋島十左衛門茂義に嫁す

正室

桃子（寵）

同十二年十一月四日没（十九才）

茂義（孟太郎、富太郎、十左衛門、紀義）

寛政十二（一八〇〇）年十月二十五日生

母は武雄左平太養妹 斯

天保三（一八三二）年八月一日武雄鍋島家の家督を相続

文久二（一八六二）年十一月二十七日没（六十三才）

鶴雲浄天

能 白石鍋島家六代鍋島直章の娘

文化七年八月二十三日生

天保三年五月十一日没

諦雲院耕山種月大姉

明矩（純三郎、斐三郎、三十郎、又右衛門、順之）

享和二（一八〇二）年一月十九日生

佐賀藩重役坂部家に養子入りの際、実年齢に二才加え寛政十二年十二月十八日生とする

祐（暢）

文化二年五月十五日生

鍋島志摩（倉町鍋島）家十一代鍋島敬哉に嫁す

嘉永二年九月二十三日没

英（長）

文化七年六月五日生

文政九年十二月十日没

典（重）

文化七年十二月三日生

文化十一年六月二十四日没

永（寅）

文化十年十二月二十九日生

太田鍋島家十三代鍋島茂快に嫁す

天保七年五月二十一日没

清央（正之助、章之助）

文政四年二月七日生

姉川鍋島家九代鍋島周防茂郷養嗣となり十代鍋島主税を名乗る

文久二年閏八月十六日没

藤（琛千代）

天保二年一月二十三日生

母は島市郎右衛門の娘知恵。神代鍋島家十三代鍋島弥平左衛門茂元に嫁す

茂昌（元次郎、上総、信壽、茂信、茂教）

天保三年十一月十八日生

母は島市郎右衛門の娘知恵。島義勇は従兄弟

天保十年九月一日武雄鍋島家の家督を相続

明治四十三年三月十五日没

浚明（文三郎、勝之助左平太）

天保五年三月一日生

母は鍋島主水家臣小宮彦右衛門の娘

薫・百子（百千代）

天保六年二月十三日生

母は島市郎右衛門の娘知恵

文久二年六月十六日没

貞経（林八郎、権大夫）

天保七年三月十八日生

母は鍋島主水家臣小宮彦右衛門の娘

園（安）

天保七年十二月一日生

母は西村惣左衛門の娘

文久二年六月二十四日没

忠明（明三郎）

天保九年五月十一日生

母は島市郎右衛門の娘知恵

文久二年八月二十二日没

保明

天保十年五月二十八日生

母は島市郎右衛門の娘知恵

武雄鍋島家家老。後藤を名乗る

成明（増吉郎）

天保十一年一月九日生

母は主水家臣小宮彦右衛門の娘

棗（里）

天保十一年十二月二十七日生

母は島市郎右衛門の娘知恵

須古鍋島家十五代鍋島茂朝に嫁す